



「妙高市民の心」通信 NO. 1

発行：妙高市・「妙高市民の心」推進協議会

はじめに～「妙高市民の心」通信の発行について～

思いやりや感謝の気持ち、家族や地域の絆を大切にする「妙高市民の心」。

この推進運動も始まって10年が経過しました。左上のシンボルマークや行動のめやすを示した「のぼり旗」を目にする機会も多いことと思います。

市では、今まで以上に広報に力を入れることとし、このたび、「妙高市民の心」通信を定期的に発行することとしました。

今号では、10月に行われた「強化月間」の取り組みの様子をお伝えします。



推進のための「6本柱」※全てのぼり旗になっています（イベント等への貸出しも可能です）

10月の「強化月間」へのご協力ありがとうございました

今年度より推進運動の更なる定着や普及を目指し、10月を「強化月間」として「1人ひとりが出来ることから始めよう」をキャッチフレーズに地域づくり団体や推進応援事業所の皆さんにより、様々な取り組みが行われました。

紙面の都合で、全ての取り組みを紹介出来ませんが、その一部を紹介します。

なお、市のホームページでは、報告いただいたすべての取り組み内容を掲載しておりますので、ご覧下さい。



新たに作成したのぼり旗

●地域づくり団体の取り組み

「地域の行事に家族で参加しよう」(経塚町・広田町町内会)

10月の「強化月間」に合わせ、新たに「ハロウィンパーティー」を開催しました。この取り組みは、広田町との合同実施で、両町内を子ども達が仮装して回りました。多くの家庭で子ども達がくるのを玄関で待っていて、お菓子を沢山出していただきました。子どもの有無に関わらず、多くの世帯から好評をいただきました。

「市民の心」を実感する良いイベントになったと思います。(経塚町町内会長 黒田四郎)

そのほかにも・・・

10月の第2日曜日に開催される「コシカマツン大会」。コース沿道の町内では給水所の運営をしています。コースが変更となって今大会で3回目となりますが、すっかり10月の地域行事になりました。

給水だけでなく、家族で沿道の応援にも参加する姿が見られました。(錦町・白山町・学校町・渋江町・小出雲・田町・上町・中町・下町・石塚町・斐太地区協議会・矢代地域づくり協議会ほか沿道の町内会、協議会)



給水所の運営の様子 (写真提供：渋江町町内会)

●「妙高市民の心」推進応援事業所の取り組み

「家族そろって食事をしよう」((株)アルゴス)

当社では、日頃より毎週金曜日を「ノー残業デー」として設定していますが、10月の「強化月間」に合わせ、10月を推進月間とし、終業後1時間以内に退社することを呼びかけたところ、毎月の指定日より退社率が高くなりました。

早めの帰宅を心がけ、家族の団らんに努めました。(同社総務部)

そのほかにも・・・

「社会のルールを守ろう」((株)野本組)

10月3日(月)～7日(金)の5日間、「交通安全の面から運転中は、スマホ・携帯電話をバッグ等に入れ身体から離し運転に集中すること」とし、取り組みを実施しました。

21人の社員が取り組みを行いました。20年近い「携帯する文化」からは脱却出来ず、期間延べ日数に対して実施累計日は40%程度でした。取り組みに参加した社員からは、「市民の心」を意識する良い機会となりました。引き続き安全運転(社会のルール)に注意したい。」といった声がありました。(同社安全運転管理者)

●共通の取り組み

地域づくり団体や推進応援事業所が発行する広報誌(SNSなど含む)に掲載いただき、PRしていただきました。(岡田土建工業(株)・ゆめきゃんぱす・斐太地区協議会・姫川原地区コミュニティ運営協議会)

のぼり旗やパネル展で「強化月間」をPR

強化月間に合わせ、新たに作成したのぼり旗を下記の団体に配布、掲出していただき、「強化月間」をPRしました。

- ①小・中学校：11校
- ②地域づくり協議会加盟団体：54団体
- ③「妙高市民の心」推進応援事業所：113事業所

また、10月29日(土)から11月6日(日)まで、妙高市文化ホールで開催された「妙高市民の心」パネル展で、強化月間の取り組みをPRしました。



文化ホールでの「パネル展」の様子

◆・◇・◆全ての問合せ先：妙高市教育委員会生涯学習課市民活動支援係◆・◇・◆

〒944-8686 妙高市栄町5-1 TEL74-0034 Fax72-3902